

第13回 金沢自転車ネットワーク協議会 議事概要

日時：平成28年2月23日（火）9時30分～11時00分

場所：国土交通省 金沢河川国道事務所 2階会議室

1. 開 会
2. 会長挨拶
3. 議 事
 - (1) 石川県における自転車事故の現状と対策
 - (2) 国土交通省における今年度の取組
 - (3) 広域的な自転車ネットワーク候補路線の選定について
 - (4) 金沢自転車通行空間整備ガイドライン（案）の見直しについて
 - (5) 事例報告
4. 閉 会

議 事 要 旨

■広域的な自転車ネットワーク候補路線の選定について

- ◎非常に良い考え方で自転車ネットワーク候補路線を抽出している。特に、高校周辺の路線を重視している点が良い。
- ◎路線として整備していくことも大事だが、自転車関連事故の多い箇所などをポイント的に整備しながら、路線としてつなげていくほうが効率的で整備を進めやすい。「点から線へ」という考え方を盛り込むべき。

■金沢自転車通行空間整備ガイドライン（案）の見直しについて

- ◎全国版ガイドライン見直しの方向性としては、自転車歩行者道の活用を完全に削除しているが、金沢駅西50m道路のように広い歩道上では、歩行者と自転車を視覚的に分離したほうが安全になるケースもある。このことから、自歩道分離の考え方は、今回の提案の通り、参考資料として残しておくべき。

■今後の流れについて

- ◎来年度、広域的な自転車ネットワーク路線についてパブリックコメントを実施する。その際には、今回のように優先順位を明示したものではなく、単色で示したものを提示する（短期・中期・長期の優先順位については内部資料として取り扱うものとする）。
- ◎来年度も、7月頃に勉強会を開催する。

【第13回金沢自転車ネットワーク協議会の様子】



委員名簿

分類	所属・氏名	出欠
学識者	金沢大学 教授 高山 純一	出席
	北陸大学 孔子学院 学院長 三国 千秋	出席
	地球の友・金沢 三国 成子 (内閣府 第9・10次中央交通安全対策会議専門委員)	出席
警察	石川県警察本部 交通部 交通企画課長 川村 孝治	代理出席 (田村 安全補佐)
	石川県警察本部 交通部 交通規制課長 南 与市	代理出席 (宮本交通規制官)
	金沢中警察署 交通官 野田 孝	出席
	金沢東警察署 地域交通官 三瀬 繁	出席
	金沢西警察署 地域交通官 宮永 裕嗣	出席
行政 関係	国土交通省 金沢河川国道事務所 道路管理第二課長 高島 勝志	出席
	石川県 土木部 道路整備課長 畠山 邦夫	代理出席 (玉田 課長補佐)
	石川県 土木部 都市計画課長 森 裕人	代理出席 (山 課長補佐)
	石川県 県央土木総合事務所 維持管理課長 吉本 一也	出席
	金沢市 都市政策局 交通政策部 歩ける環境推進課長 多田 正人	出席
	金沢市 土木局 道路管理課長 木村 裕一	代理出席 (村田 担当課長補佐)
オブザー バー	白山市 建設部 土木課 計画係長 山岸 正勝	参加
	野々市市 産業建設部 建設課 課長 北川 勝 総務部 環境安全課 課参事 山田 伸吾	参加
	津幡町 産業建設部 都市建設課 課長 岩本 正男	参加
	内灘町 町民福祉部 環境安全課 主事 組村 和也	参加

※敬称略

議 事 概 要

○各委員、●事務局

■開会

●事務局（金沢河川国道事務所調査第二課 北出課長）

定刻となりましたので、ただいまより、第13回金沢自転車ネットワーク協議会を開催いたします。本日はお忙しい中、お集まりいただき、誠にありがとうございます。

私は、事務局を担当しております、国土交通省金沢河川国道事務所調査第二課の北出でございます。どうぞよろしくお願いいたします。本日の配布資料について確認をさせていただきます。

なお、本日の協議会は、報道機関に対して非公開とさせていただいておりますので、あらかじめご了承のほど、よろしくお願い致します。

それでは、開会にあたりまして、高山会長より、ご挨拶をお願い致します。

■会長挨拶

○金沢大学教授 高山会長

金沢大学もいよいよ駐車場の有料化を進める方向で検討しているところです。学生の自動車事故が多く発生していますが、有料化するとバスや自転車での通学が増えると思われます。そのため、バスや自転車の利便性を高めていく必要があります。大学側ではできないことも多いため、県のほうで検討していただいている自転車通行空間整備を、駐車場の有料化にあわせてぜひ実施していただければと思います。

本日は4つの議題がありますので、多くのご意見をいただきながら粛々と進めてまいりたいと思いますので、ご協力のほど、よろしくお願い致します。

■石川県における自転車事故の現状と対策

○地球の友・金沢 三国成子委員

石川県警の方に質問ですが、死者が出ているところは幹線道路なのか生活道路なのか、また、通行する車のスピードなどがもしわかれば教えてもらえますか。

○石川県警察本部 宮本委員

具体的なクルマの速度等はお答えできませんが、幹線道路の事故が多く、クルマのスピードが速い場所が多いと考えています。

■広域的な自転車ネットワーク候補路線の選定について

○北陸大学孔子学院長 三国千秋委員

岡山市でも自転車通行空間整備の取り組みについて説明を受けましたが、金沢の場合は

ネットワーク路線の設定の考え方がとても良いと思います。高校周辺の道路をネットワーク路線に設定したことは非常に良いことであり、自転車の通行方法を道路上で学べるということで、他の道路を通行する際にも気をつけるようになると思います。今回の案で市内の高校はほとんどカバーできていると思います。非常に考え方がしっかりしており感心しています。あとは肅々と、時間がかかっても良いので少しずつ進めていければと思います。

○地球の友・金沢 三国成子委員

森本小学校周辺の検討路線付近に塚崎町というところがありますが、小学生にとってとても危険で自転車の利用も多い箇所なので、ネットワーク路線としてそこまで入れておいていただければと思います。2002年に金沢自転車安全マップを作成した際には、高校生1,500人を対象に調査をしているので、それと照らし合わせて精査していただければと思います。高校生の通学経路はそれほど大きく変わっていないと思います。

●事務局（金沢河川国道事務所調査第二課 堀口専門官）

ご指摘の路線については、ネットワークという視点で検討しており、事故の多いポイント的な箇所であることから今回は着色していませんでした。事故が多く発生している箇所については、今後、ポイント的に整備すべき場所として捉えていきたいと思います。

○金沢大学教授 高山会長

路線として整備をしようとする、どうしても構えて事業化が難しくなってしまうので、ポイント的に整備すべき場所から整備していった方が効率的であり、費用や地元調整の面でも整備が進みやすいと考えています。その積み重ねが路線につながっていくと思います。先ほど三国委員よりご指摘のあったところも含めて、国だけでなく県や市とも連携しながら、スポット的に整備すべき場所もあわせて検討していただければと思います。

●事務局（金沢河川国道事務所調査第二課 堀口専門官）

ご指摘のとおり、「点から線へ」という視点は非常に重要ですので、今後、パブコメ案に反映させていただきたいと思います。

■金沢自転車通行空間整備ガイドライン（案）の見直しについて

○地球の友・金沢 三国成子委員

自転車歩行者道の整備事例を参考資料に残すということですが、一番の問題は、歩道上に自転車マークを設置すると、自転車が歩道を通行しているのか車道を通行しているのかわからなくなってしまうということで、とにかく歩道上には自転車マークは書かないということが本省の委員会で強く打ち出されていますので、ご留意いただければと思います。

○北陸大学孔子学院長 三国千秋委員

駅西 50m道路のように、歩道上でも自転車の通行位置を示した方が安全という考え方もありますが、そのあたりも含めてどうなのでしょう。

○地球の友・金沢 三国成子委員

東京でも歩道上を視覚的に分離しているところがありますが、それがうまくいっていないということもあり、とにかく歩道上に自転車マークは設置すべきではないということで、文字表示であれば良いのかもしれない。

○金沢大学教授 高山会長

非常に難しい問題ですが、自歩道では歩道上も自転車の通行が許容されているので、悩ましい部分かと思います。

○北陸大学孔子学院長 三国千秋委員

駅西 50m道路では歩行者と自転車が分離されており良いと思います。一方で、岡山駅前の広い歩道では何も整備されておらず、自転車が歩行者の間を縫って走っていました。全国版では歩道上には何も整備しない方向となっているようですが、自転車の通行する場所を示した方が安全かと思います。

○金沢大学教授 高山会長

歩道上での自転車の通行を認めるかどうかの問題かと思います。歩道の広い駅西 50m道路を整備した経緯としては、当時、歩行者よりも自転車のほうが多かったことから、自転車の安全性も考慮して通行する場所を明示したということです。今後、歩行者が増えて自転車が通行するとまずいということになれば、また検討すれば良いと思います。国のガイドラインでは全国一律に考えないといけない部分があるので仕方ないと思いますし、東京での議論が中心になってしまうこともあるかと思いますが、金沢版のガイドラインということで、事務局からの提案のとおり、参考として自歩道の活用を残しておいても良いのではないかと考えます。

<平成 27 年度 自転車利用環境向上会議 in 京都について（感想）>

○金沢市歩ける環境推進課課長 多田委員

初めて会議に参加させていただいたが、とても参加者が多く、関心の高さがうかがえました。話を聞いていると、行政やコンサルタントだけではなく一般参加者の方々もたくさんおられ、これからの施策の進め方として、警察や行政だけでなく市民や団体の方々を巻き込みながら進めていかないといけないと感じました。自転車は気軽に乗れる身近な交通手段であり、まちなかでも利用が多く、便利に使えることが自転車の魅力でもあることから、バス

にはない自転車の可能性が見えてくると思います。これからは交通安全教育や通行空間整備を継続的に進めていかなければならないと考えていますが、まちなか自転車利用環境向上会議の見直し版の中でも触れているように「自転車の魅力」をもっと知ってもらうことや、自転車そのものを知ってもらい、日常的な点検等の方法も知っていただくことが重要であるとあらためて感じました。金沢市の施策としては安全性を重視してきましたが、他都市の事例を聞くと、自転車の利用を推進していくところまで考えていかなければならないと感じました。

○石川県 県央土木総合事務所 維持管理課 島田係長

私のほうからは、石川県の取り組みということで、県道窪野々市線の事例を発表させていただきました。発表後の質疑では、他の自治体より、同じように狭い道路空間の中で自転車通行帯の整備を検討しているが警察協議がうまくいっていないとのことで、石川県ではどのように協議を進めているのか、という質問をいただいた。石川県ではこの金沢自転車ネットワーク協議会があり、情報の共有化や様々な協議の場があることを紹介させていただきました。また、このような協議会の成果もあり、平成 22 年から自転車関連事故が半減しているということも紹介させていただきました。他の先生方や登壇者も、金沢の事例を持ち出して発表される方も多く、石川県は自転車利用環境の整備が進んでいるのだと改めて実感しました。今後も、自転車の施策について一生懸命取り組み、全国に発信していければ良いと考えています。

■事例報告（三国成子委員より）

○地球の友・金沢 三国成子委員

・フランス（ナント）の事例報告

○金沢大学教授 高山会長

バスの正着性に関してはかねてからの課題であり、バス停を整備しても運転手のマナーや技量の問題もあり正着できないことが多く、特に車いすの方々にとっては乗り降りが困難となっていることがあります。もう 20 年ほど前から言われていますがなかなか難しい問題かと感じています。

今日は 5 件の報告や発表がありました。石川県警からは自転車関連事故の話や違反の取り締まりの話があり、全国の件数と比較すると、石川県では人口に対する取り締まり件数はやや少ないのかなと感じました。

国交省の取り組みとしては、自転車事故の多い 3 箇所におけるポイント整備の報告がありました。今後このような取り組みを継続していただきたいと思っています。

広域的な自転車ネットワークについては、基本的な考え方と優先順位の付け方について提案いただきましたが、範囲外についても同様にポイント的な整備をしていければ、点から

線になっていくだろうと思いますので、ぜひお願いしたいと思います。

金沢版ガイドラインの見直しについては、全国版の方向性を踏まえながらも、金沢版としてのオリジナリティを維持しながら見直したいという提案をいただきました。

最後に、三国成子委員からフランスの事例をご発表いただき、日本もそうなれば良いなという思いも込められた内容だったと感じています。

今回はとても実り多い内容だったと思いますので、今後ともこのような協議会を継続し、金沢市あるいは石川県全体の交通安全や自転車利用環境の向上につながれば良いと願っています。

○北陸大学孔子学院長 三国千秋委員

日本もフランスのようになれば、ということもありますが、昨年10月に韓国で金沢の取り組みを発表したところ、シンガポールやマレーシア、韓国などのアジアの国々にとっては、自転車走行指導帯の整備によって事故が減っていることは、非常に参考になるということでした。金沢の事例がアジアの他都市の参考になるということで、今後も頑張っていけばきっと貢献できると考えています。

○金沢大学教授 高山会長

いろんな場面で、金沢の取り組みをPRしていただければと思います。以上で本日の議事は終了しましたので、事務局に司会をお返しします。

■その他

●事務局（金沢河川国道事務所調査第二課 堀口専門官）

来年度も7月を目途に勉強会を開催したいと考えています。その後、パブコメを経た上で、協議会の場でご議論いただきたいと思いますので、引き続きよろしくお願い致します。

■閉会

●事務局（金沢河川国道事務所調査第二課 北出課長）

以上をもちまして、第13回金沢自転車ネットワーク協議会を終了致します。ありがとうございました。

以上